

2026年4月入学／2025年10月入学（夏期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

都市地域社会専攻

都市地域社会コース [地域社会系問題]

試験科目 学科試験I

<出題意図>

各研究領域の先行研究やその評価、重要概念に関する知識、理解力、文章力等を審査することを意図して作成されています。特定の解答に誘導し筆記の内容が画一的になると、筆記試験が意図する知識・思考・能力の把握が困難になることから、解答例（模範解答）は公開していません。

2026年4月入学／2026年10月入学（冬期募集）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 入学試験問題 解答例・出題意図

都市地域社会 専攻

都市地域社会 コース [地域社会系問題]

試験科目 学科試験 I

<出題意図>

各研究領域の先行研究やその評価、重要概念に関する知識、理解力、文章力等を審査することを意図して作成されています。特定の解答に誘導し筆記の内容が画一的になると、筆記試験が意図する知識・思考・能力の把握が困難になることから、解答例（模範解答）は公開していません。

解答例・出題意図

問I

出題意図は、自己形成に大きな影響があり、現代的な教育課題でもある「認めること／認められること」について、理論的な理解力とその理論を用いて具体的な教育状況について考察する力をはかることにある。

そのため、本問における採点基準は、次のとおりである。まず、アクセル・ホネットの承認論における三つの承認のモデルについて、愛、法、連帯のそれぞれの観点から承認様式について丁寧に説明がなされているかどうか。次に、ホネット承認論の視点から教育の場면을捉えることを通して、承認が十分になされていないことについて具体例をあげながら考察がされているかどうか。

なお、配点は、前半の理論的説明に100点、後半の具体的な状況理解や把握、考察に100点である。

解答例・出題意図

問題Ⅱ

出題意図は、現代的な教育問題とされる「不登校」について、表面的理解だけでなく、理論的バックボーンに基づいた知識を踏まえた説明ができるかどうかを確認することにある。特に教育社会学における「不登校」の捉え方は、一般的な理解をも批判的に検討するものであり、ここではその観点に基づく力をはかることになる。

そのため、本問題における採点基準は次の通りである。まず「不登校」と「長期欠席」の違いを明確に説明することができるか。次にその違いに着目した教育社会学の先行研究について具体的な内容を説明することができるか。

なお、配点は前半の定義の違いの説明が50点、後半のそれを踏まえた先行研究の概要の説明が150点である。